(19)日本国特許庁（ＪＰ）　(12) 公開特許公報（Ａ）　(11)特許出願公開番号

特開平5－159465

(43)公開日　平成５年(1993)６月25日

(51)Int.Cl.[5]		識別記号	庁内整理番号	ＦＩ	技術表示箇所
Ｇ１１Ｂ	20/12		9074－5D		
	20/10	３５１　Ｚ	7923－5D		
	20/14	３５１　Ａ	8322－5D		

審査請求　未請求　請求項の数１(全　９　頁)

(21)出願番号　特願平3－325948

(22)出願日　平成３年(1991)12月10日

(71)出願人　000005821
松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者　桑野　秀之
大阪府門真市大字門真1006番地　松下電器産業株式会社内

(72)発明者　吉浦　司
大阪府門真市大字門真1006番地　松下電器産業株式会社内

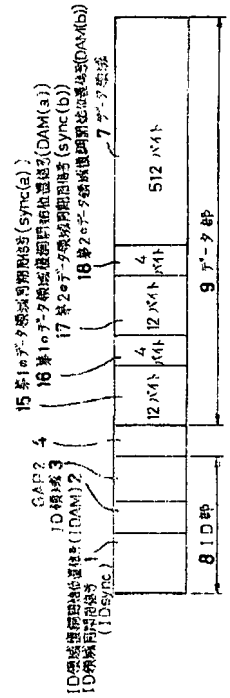
(74)代理人　弁理士　武田　元敏

(54)【発明の名称】　フロッピーディスク装置

(57)【要約】

【目的】　フロッピー・ディスクにおいて、ミッシングパルスやバースト・エラーによる、クロック同期不能や復調開始位置未検出等に起因するセクタエラーの発生率を改善する。

【構成】　セクタフォーマット内にクロック同期用信号ｓｙｎｃ１，15，17および復調開始位置信号ＤＡＭ２，16，18を、交互にそれぞれ複数個ずつ記録し、いずれか１つのクロック同期用信号ｓｙｎｃによってクロック同期を確立し、その後に位置するいずれか１つの復調開始位置信号ＤＡＭを検出することにより、復調回路を動作させるタイミングを決定する。



【特許請求の範囲】

【請求項１】　セクタ内の再生クロック同期用信号と、再生データ列の復調開始位置を示す復調開始位置信号とを、交互にそれぞれ複数記録した、セクタ単位に情報を記録したフロッピーディスクから、記録された情報を２値化信号に生成する手段と、再生クロック同期信号からフレーム同期信号を生成する手段と、復調開始位置信号を検出して復調開始指示信号を生成する手段と、該復調開始指示信号によって、目的のデータを復調する手段とを備えていることを特徴とするフロッピーディスク装置。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【産業上の利用分野】本発明は、コンピュータ等の情報出力装置として使用されるフロッピーディスク装置に関する。

【０００２】

【従来の技術】図８は従来のフロッピーディスク(以下、ＦＤと略す)のセクタフォーマットを示している。図８において、１はＩＤ領域の信号に再生装置側のクロックを同期させるためのＩＤ領域同期用信号(以下、ＩＤｓｙｎｃと略す)、２はＩＤ領域の開始を示すＩＤ領域復調開始位置信号(以下、ＩＤＡＭと略す)、３は各セクタのアドレス情報が記録されているＩＤ領域、４はデータ記録再生時にデータ部との緩衝の役目をするＧＡＰ２、５はデータ領域の信号に再生装置側のクロックを同期させるためのデータ領域同期用信号(以下、ｓｙｎｃと略す)、６はデータ領域の開始位置を検出する復調開始位置信号(以下ＤＡＭと略す)、７はユーザ情報を記憶するデータ領域である。

【０００３】上記セクタフォーマットのＩＤｓｙｎｃ１～ＩＤ領域３をＩＤ部８，ｓｙｎｃ５～データ領域７をデータ部９という。

【０００４】図９は従来のＦＤ装置の構成を示すブロック図であり、図９において、10はＩＤｓｙｎｃ１およびｓｙｎｃ５に装置側のクロックを同期させるクロック同期回路、11はＩＤＡＭ２およびＤＡＭ６を検出する復調開始位置信号検出回路(以下、ＡＭ検出回路と略す)、12は同期した信号を復調する復調回路、13は復調されたデータがＩＤ部８かデータ部９かを切り分けるスイッチ、14はＣＰＵである。

【０００５】次に、上記従来例の動作について説明する。図９において、ａは再生信号を２値化した再生パルスであり、クロック同期回路10に入力される。クロック同期回路10は、ＩＤｓｙｎｃ１を用いてＰＬＬ(Phase Locked Loop)により再生用クロック信号を生成し、この再生クロック信号に同期したパルスデータｂを出力する。

【０００６】パルスデータｂはＡＭ検出回路11及び復調回路12に入力され、ＡＭ検出回路11ではＩＤＡＭ２を検出してフレーム同期信号ｃを復調回路12に与え、また、復調回路12ではフレーム同期信号ｃを受けると復調を開始し、ＩＤ領域３の信号をＮＲＺ(Non Return to Zero)信号に復調した復調データｄを出力して、スイッチ13に入力する。

【０００７】ＣＰＵ14では、ＩＤ部８の再生時にはＩＤ領域データｈをＣＰＵ側に出力するように、ＩＤ・データ選択信号ｇを切り替える。ＣＰＵ14はこの状態で、ＩＤ領域データｈを判別し、所望のアドレスでなければ次のセクタを待ち、所望のアドレスであれば続いて記録されているデータ部９のデータ領域再生データｅを出力するように、ＩＤ・データ選択信号ｇによってスイッチ13を切り替える。

【０００８】その後、上記所望のＩＤ検出に続いて、クロック同期回路10はｓｙｎｃ５を用いて再生用クロック信号を生成し、パルスデータｂを出力する。パルスデータｂはＡＭ検出回路11及び復調回路12に入力され、ＡＭ検出回路11ではＤＡＭ６を検出するとフレーム同期信号ｃを復調回路12に与える。復調回路12はフレーム同期信号ｃを受けると復調を開始し、データ領域７の信号をＮＲＺ信号に復調した復調データｄを出力し、スイッチ13を通してデータ領域再生データｅを出力する。

【０００９】以上のように、ＤＡＭ６はデータの始まりを認識するための重要な信号であり、かつてはＤＡＭ６にはＤＣイレースを使用することが多かったが、最近では、ミッシングパルスなどのデータの欠落を、ＤＡＭ６として誤検出することがあるために、特定のパターンを使用する方法も増えている。

【００１０】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来のＦＤ装置では、ＤＡＭ６がデータの欠落(ミッシングパルス)のような欠陥などの理由で検出できない場合に、データ領域の開始位置が検出できず、そのためデータを再生できないことがあった。

【００１１】また、ｓｙｎｃ５に数バイトにおよぶ大きな欠落(以下、バースト・エラーとする)があった場合には、ＰＬＬが同期できないため再生用クロック信号が生成できず、したがってＤＡＭ６のパターンを検出できなくなり、復調データｄが正確に出力されないことがあるという問題点があった。

【００１２】すなわち、ｓｙｎｃ５やＤＡＭ６などのデータ領域以外のデータ部９にミッシングパルスやバースト・エラーが発生することによって不良セクタが発生するという問題点があった。

【００１３】本発明は、このような従来の問題点を解決することにあり、バースト・エラーやミッシングパルスなどにより、ＤＡＭ６が検出できなかったり、ｓｙｎｃ５で再生クロック信号が生成できないことに起因する不良セクタの発生率を低下させることのできる優れたＦＤ装置を提供することを目的とするものである。

【００１４】
【課題を解決するための手段】本発明は、セクタフォーマット内にｓｙｎｃおよびＤＡＭを交互にそれぞれ複数個備え、それぞれ、いずれか１つのｓｙｎｃまたはＤＡＭを検出すれば復調回路を動作させることができるようにしたものである。
【００１５】
【作用】本発明によれば、セクタフォーマット内に複数個備えられたＤＡＭ、またはｓｙｎｃのうちいずれか一方を検出すれば良いので、ＤＡＭが検出できなかったり、ｓｙｎｃで再生用クロック信号が生成できないことに起因する不良セクタの発生率を、著しく低下する。
【００１６】
【実施例】図１は本発明の一実施例におけるセクタ・フォーマットを示している。図１において、15は12バイト長の第１のデータ領域同期用信号(以下、ｓｙｎｃ(a)と略す)、16は４バイト長の第１のデータ領域復調開始位置信号(以下、ＤＡＭ(a)と略す)、17は12バイト長の第２のデータ領域同期用信号(以下、ｓｙｎｃ(b)と略す)、18は４バイト長の第２のデータ領域復調開始位置信号(以下、ＤＡＭ(b)と略す)であり、その他の符号は図８の説明を援用する。
【００１７】図２は本発明の第１の実施例のＦＤ装置の構成を示すブロック図である。図２において、10ないし14は図９の対応する部位と同じ、または同機能のものであり、その他の符号で19は遅延回路、20はタイマーである。
【００１８】次に、上記本発明における第１の実施例の動作について説明する。ａは再生信号を２値化した再生パルスでクロック同期回路10に入力される。クロック同期回路10はＩＤｓｙｎｃ１(図１参照)を用いて再生用クロック信号を生成し、この再生クロック信号に同期したパルスデータｂを出力する。
【００１９】パルスデータｂはAM検出回路11に入力され、ＩＤＡＭ２を検出するとフレーム同期信号ｃを出力し、遅延回路19に入力する。遅延回路19の遅延量はＣＰＵ14からのディレイ指示信号ｋによって制御され、ＩＤ領域３ではその遅延量は０に設定される。
【００２０】したがって、遅延回路19から復調回路12にフレーム同期信号ｃ′が出力されるが、ＩＤ領域３でのタイミングはAM検出回路11から出力されるフレーム同期信号ｃに等しい。フレーム同期信号ｃ′を受けた復調回路12では復調を開始し、ＩＤ領域３の信号をＮＲＺ信号に復調した復調データｄを出力し、スイッチ13に入力する。
【００２１】ＣＰＵ14では、ＩＤ部８の再生時にスイッチ13がＣＰＵ14に対してＩＤ領域データｈを出力するように、ＩＤ・データ選択信号ｇを切り替える。ＣＰＵ14はこの状態で、ＩＤ領域データｈを判別し、所望のアドレスでなければ次のセクタを待ち、所望のアドレスであれば続いて記録されているデータ部のために、スイッチ13がデータ領域再生データｅを出力するようにＩＤ・データ選択信号ｇを切り替える。
【００２２】図３は、上記所望のＩＤ領域３を検出した後のデータ部９の再生動作を示すフローチャートである。以下、この図を用いてステップをＳと略記して動作を説明する。
【００２３】まず、Ｓ１では、上述したような手順で所望のデータが記録されているアドレスのＩＤ領域３を検出する。所望のＩＤ領域３を読み出すと続いてＳ２でクロック同期回路10においてｓｙｎｅ(a)15を用いて再生用クロック信号を生成し、Ｓ３(a)において、AM検出回路11でＤＡＭ(a)16が入力されるのを待ち、何等障害のない場合にはＤＡＭ(a)16を検出して、フレーム同期信号ｃを、遅延回路19，ＣＰＵ14，およびタイマー20に出力する。
【００２４】そしてＳ５(a)において、遅延回路19はAM検出回路11から受けたフレーム同期信号ｃを、ｓｙｎｅ(b)17およびＤＡＭ(b)18の分だけ、すなわち16バイト分遅らせて、フレーム同期信号ｃ′を復調回路12に出力する。復調回路12では、このフレーム同期信号ｃ′を受けてデータ領域７の再生パルスを復調し、復調データｄとして出力する。
【００２５】上記Ｓ３(a)でＤＡＭ(a)16を検出する際に、Ｓ４(a)に示すループで、ＩＤ領域３を検出してからＤＡＭ(a)16を検出するまでの時間をタイマー20で監視する。
【００２６】次に、ＩＤ領域３を検出してからＤＡＭ(a)16を検出するまでの時間が一定の時間を越えたＳ４(a)・Ｙの場合についての、タイムアウト処理についてのべる。ＩＤ領域３を検出してからＤＡＭ(a)16を検出するまでの時間が、ｓｙｎｃ(a)15およびＤＡＭ(a)16の分を越えた場合、すなわち16バイト分経過してもＤＡＭ(a)16が検出できない場合、Ｓ３(b)においてＤＡＭ(b)18を検出して、フレーム同期信号ｃを遅延回路19に出力する。
【００２７】遅延回路19ではフレーム同期信号ｃを遅延することなくフレーム同期信号ｃ′を出力する。つまり、ｓｙｎｃ(a)15で同期を確立し、Ｓ５(b)でＤＡＭ(a)16とｓｙｎｃ(b)17を読み飛ばして、ＤＡＭ(b)18を検出する。
【００２８】ＤＡＭ(a)16が検出できない原因としては、１つはＤＡＭ(a)16そのもの欠陥の場合と、他の１つはｓｙｎｃ(a)15で再生用クロック信号が生成できずに検出できない場合とがある。前者の場合は、上記の手順でＤＡＭ(b)18を検出するためのデータ領域再生データｅは出力されるが、後者の場合は、上記の手順ではＤＡＭ(b)18も検出できない。この場合、Ｓ７のリトライ・ルーチンによってＤＡＭ(b)18を検出することができる。このリトライ・ルーチンの手順を以下、図４によっ

て説明する。

【００２９】すなわち、図４は、リトライ・ルーチンを示すフローチャートである。Ｓ８はＳ２と同様のＩＤ検出手段をあらわしている。Ｓ８で所望のＩＤ領域３を検出するとｓｙｎｃ(a)15およびＤＡＭ(a)16の分だけ、すなわち16バイト分遅延させてクロック同期回路10を動作させる。

【００３０】次にクロック同期回路10でｓｙｎｃ(b)17を用いて再生用クロック信号を生成し、AM検出回路11によってＤＡＭ(b)18を検出し、その検出によってフレーム同期信号ｃを出力する。フレーム同期信号ｃは、遅延回路19に入力されるが(Ｓ９)、ここでは遅延することなくフレーム同期信号ｃ′が出力される(Ｓ10)。フレーム同期信号ｃ′は復調回路12に入力され、ＤＡＭ(b)が検出され(Ｓ11)、データ領域７の再生データｅが出力される(Ｓ13)。また、Ｓ11でＤＡＭ(b)が検出されないときは、タイムアウト(Ｓ12)となり、再生不可能ということになる(Ｓ14)。

【００３１】したがって、本実施例によると、データ領域復調開始位置信号と同期信号を交互にそれぞれ複数個配置することにより、データ領域復調開始位置信号、あるいは互にそれぞれ複数個配置することにより、データ領域復調開始位置信号ＤＡＭ(a)、あるいは同期信号ｓｙｎｃ(a)のバースト・エラーによって不良セクタとなる場合でも、どちらか一方の同期信号で再生用クロック信号を生成し、その後に位置するいずれかのデータ領域復調開始位置信号ＤＡＭ(b)を検出すれば良いので、データ部８でのエラーに起因する不良セクタの発生率が飛躍的に改善される。

【００３２】図５は、本発明の第２の実施例におけるセクタフォーマットを示している。第２の実施例は、第１の実施例のデータ部にエラー訂正用パリティ・バイト35を付加したもので、これはインターリブド・リードソロモンと呼ばれるエラー訂正符号である。

【００３３】図６は、図５におけるエラー訂正符号のフォーマットを示す図である。図６のエラー訂正符号の能力はランダム・エラーに対しては３重誤りまで訂正できる。また、バースト・エラーに対しては11バイトの連続したエラーまで訂正することができる。したがって、データ領域およびエラー訂正用パリティ・バイト35については、11バイトまでのバースト・エラーに対して、エラー訂正機能によって正しいデータ領域再生データｅを出力することができる。

【００３４】図７は本発明の第２の実施例におけるＦＤ装置の構成を示すブロック図であり、36はエラー訂正回路で、その他以下説明しない符号は前図までの符号と同じ、または同等機能のものを指している。

【００３５】本発明の第２の実施例の動作は、前述の第１の実施例に示した手順により再生されたデータ領域再生データｅにエラーがあった場合に、エラー訂正回路36によってエラー訂正処理が行われ、データ領域再生データｅ′として出力される。

【００３６】また、ｓｙｎｃおよびＤＡＭが記録されている領域に11バイト長までのバースト・エラーがあった場合でも、複数個記録されているｓｙｎｃおよびＤＡＭのいずれか１つがエラーとなるだけである。したがって、この第２の実施例によると、データ部９のいずれに11バイトまでのバースト・エラーが存在しても、正しいデータ領域再生データｅ′が出力されることになる。

【００３７】ここで、従来のセクタフォーマットに第２の実施例と同じエラー訂正用パリティ・バイト35を付加したと仮定すると、データ領域７およびエラー訂正用パリティ・バイト35にバースト・エラーがあった場合には、そのデータ領域再生データｅは正しいものを出力できる。しかし、データ領域７およびエラー訂正用パリティ・バイト35以外にバースト・エラーがあった場合、すなわちｓｙｎｃ５やＤＡＭ６にバースト・エラーがあった場合には、ＤＡＭ６が検出できないために復調回路12が動作できず、そのセンタのデータは再生することができなかった。

【００３８】したがって、エラー発生要因がデータ部９におけるバースト・エラーである場合、従来のセクタフォーマットではｓｙｎｃ５およびＤＡＭ６のバースト・エラーが発生するとデータが再生できず、不良セクタとなってしまう可能性が大きいが、上記第２の実施例ではｓｙｎｃおよびＤＡＭのバースト・エラーによる不良セクタの発生率が大きく改善される。

【００３９】このように、上記第２の実施例によれば、第１のｓｙｎｃ(a)15と第２のｓｙｎｃ(b)17のいずれか一方と、その後に位置するＤＡＭ(a)16とＤＡＭ(b)18のいずれか一方を検出すれば良いことになり、再生用クロック信号を生成できなかったり、ＤＡＭが検出できないことに起因する不良セクタの発生率が、大きく改善され、エラー訂正回路18のバースト・エラー訂正能力が十分に利用できるという効果を有する。

【００４０】

【発明の効果】以上、説明にしたように本発明のフロッピーディスク装置は、セクタ・フォーマット内にｓｙｎｃおよびＤＡＭを交互にそれぞれ複数個備え、いずれか１つのｓｙｎｃで再生用クロック信号を生成し、その後に位置するいずれか１つのＤＡＭを検出することによって、データ領域を再生することができるので、ＤＡＭが検出できないことに起因する不良セクタの発生率を著しく低下させることができる。

【００４１】また、データ領域にエラー訂正符号に付加してバースト・エラーに対する不良セクタの発生率を低下させた場合に、それぞれのＤＡＭを訂正可能なバースト・エラー長以上離して配置し、その後にｓｙｎｃを記録しておくことによって、ＤＡＭの検出ミスや再生用クロック信号の生成不良に起因する不良セクタの発生率を著

しく低下させることができるために、エラー訂正回路のバースト・エラー訂正能力を十分に利用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の第１の実施例におけるセクタフォーマットを示す図である。

【図２】本発明の第１の実施例におけるＦＤ装置の構成を示すブロック図である。

【図３】図２のＦＤ装置の構成を示すフローチャートである。

【図４】図２のＦＤ装置の動作を説明するリトライ・ルーチンのフローチャートである。

【図５】本発明の第２実施例におけるセクタフォーマットを示す図である。

【図６】図５におけるエラー訂正符号フォーマットを示す図である。

【図７】本発明の第２の実施例におけるＦＤ装置の構成を示すブロック図である。

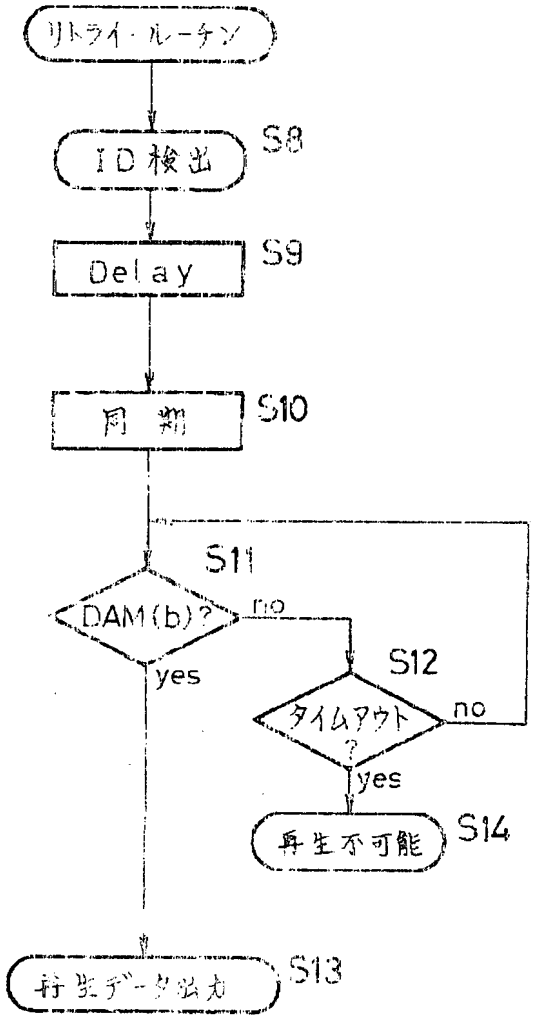
【図８】従来のＦＤ装置のセクタフォーマットを示す図である。

【図９】従来のＦＤ装置の構成を示すブロック図である。

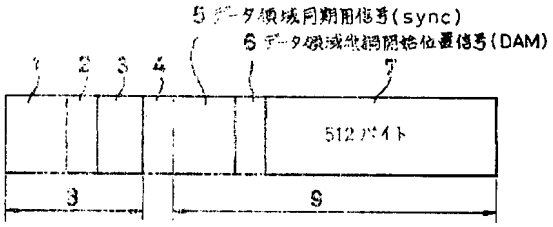
【符号の説明】

１…ＩＤ領域同期用信号（ＩＤｓｙｎｃ）、　２…ＩＤ領域復調開始位置信号（ＩＤＡＭ）、　３…ＩＤ領域、　４…ＧＡＰ２、　７…データ領域、　８…ＩＤ部、９…データ部、　10…クロック同期回路、　11…復調開始位置信号検出回路（ＡＭ検出回路）、　12…復調回路、　14…ＣＰＵ、　15…第１のデータ領域同期用信号（ｓｙｎｃ(a)）、　16…第１のデータ領域復調開始位置信号（ＤＡＭ(a)）、17…第２のデータ領域同期用信号（ｓｙｎｃ(b)）、　18…第２のデータ領域復調開始位置信号（ＤＡＭ(b)）、　19…遅延回路、　20…タイマー、　35…エラー訂正用パリティ・バイト、　36…エラー訂正回路。

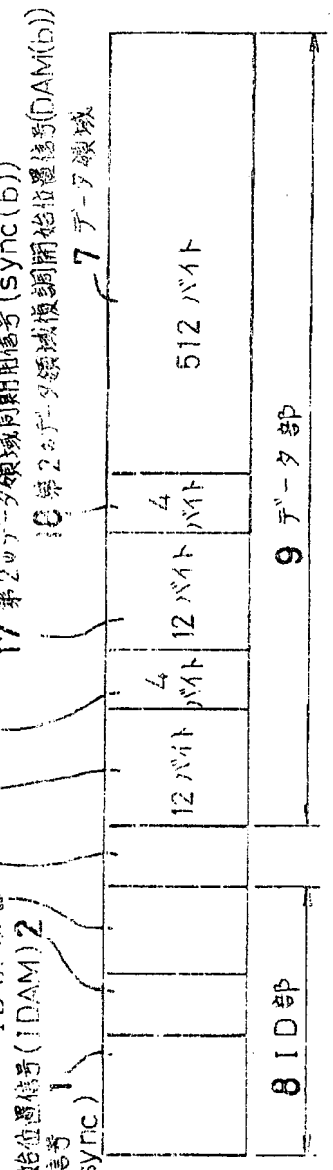
【図４】



【図８】



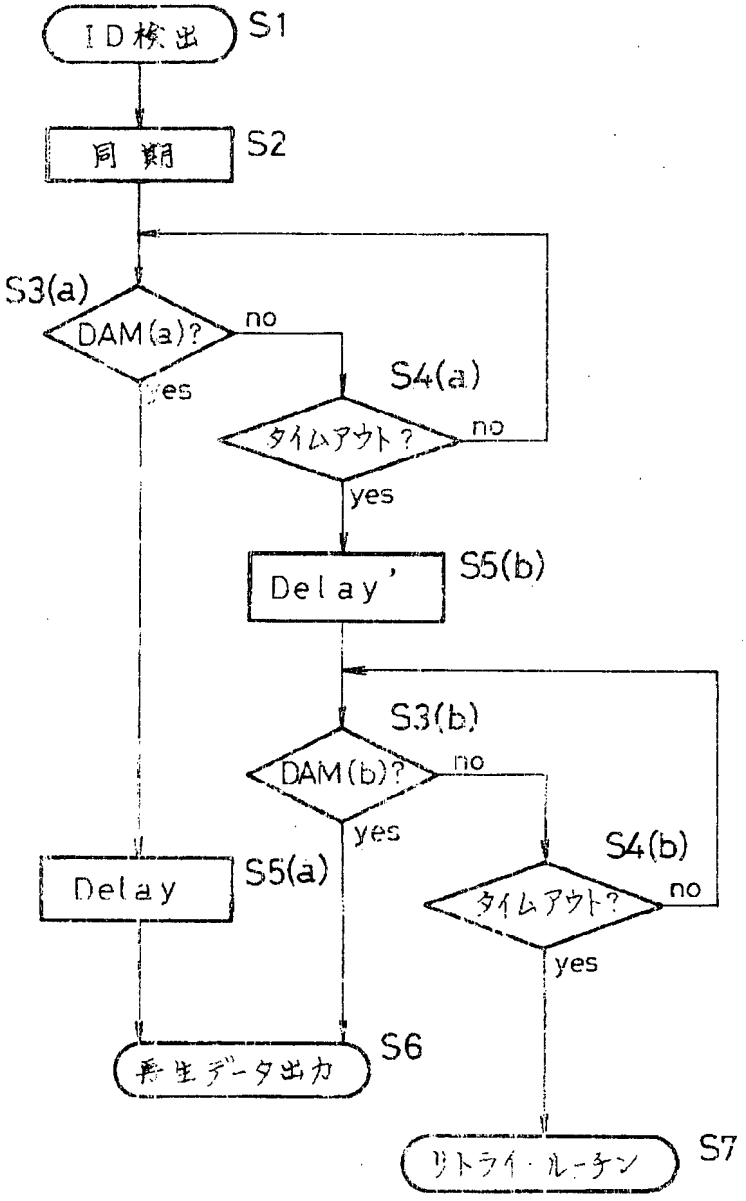
【図1】


15 第1のデータ領域同期用信号(sync(a))
16 第iのデータ領域復調開始位置信号(DAM(a))
17 第2のデータ領域同期用信号(sync(b))
18 第2のデータ領域復調開始位置信号(DAM(b))
7 データ領域
GAP 4
ID領域 3
ID領域復調開始位置信号(IDAM) 2
ID領域同期用信号 1
(IDsync)
12バイト
4バイト
12バイト
4バイト
512バイト
8 ID部
9 データ部

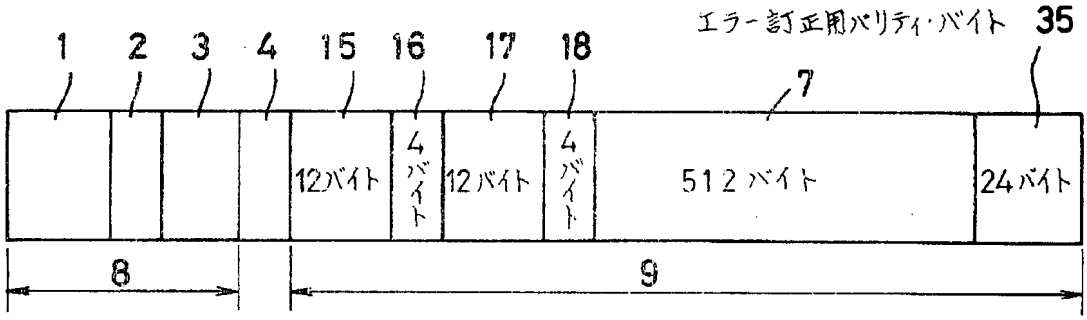
【図2】

10 クロック同期回路
a 再生パルス
b パルスデータ
12 復調回路
19 逆変回路
c フレーム同期信号
c' フレーム同期信号
d 復調データ
13 スイッチ
e データ領域再生データ
f ディレイ指示信号
g ID・データ選択信号
h ID領域データ
20 タイマー
i タイムアウト信号
i タイマー・スタート信号
j
11 復調開始位置信号検出回路
14 CPU

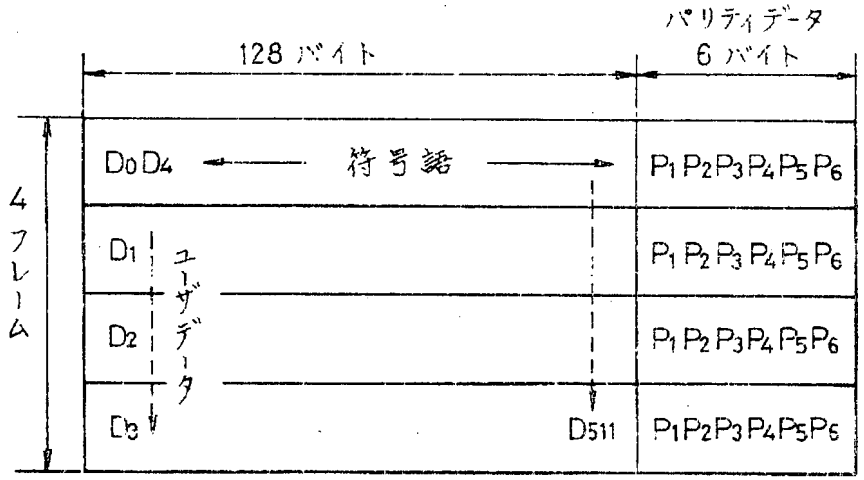
【図3】


ID検出
S1
同期
S2
S3(a)
DAM(a)?
no
yes
S4(a)
タイムアウト?
no
yes
Delay'
S5(b)
S3(b)
DAM(b)?
no
yes
S4(b)
タイムアウト?
no
yes
Delay
S5(a)
再生データ出力
S6
リトライ・ルーチン
S7

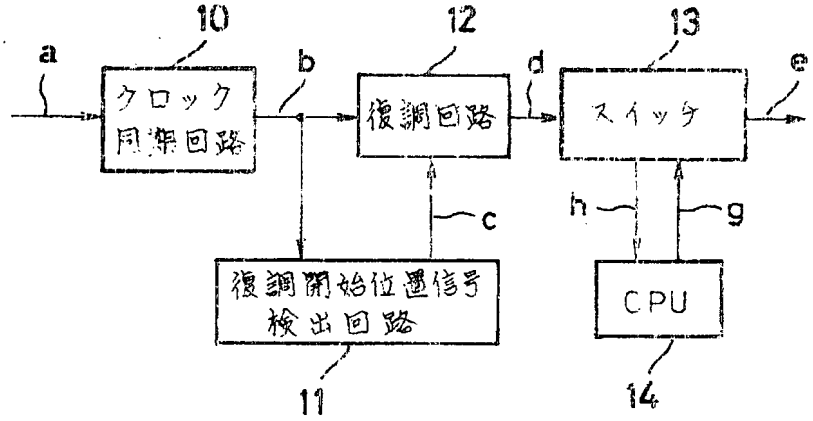
【図5】


エラー訂正用パリティ・バイト 35
1
2
3
4
15
16
17
18
7
12バイト
4バイト
12バイト
4バイト
512バイト
24バイト
8
9

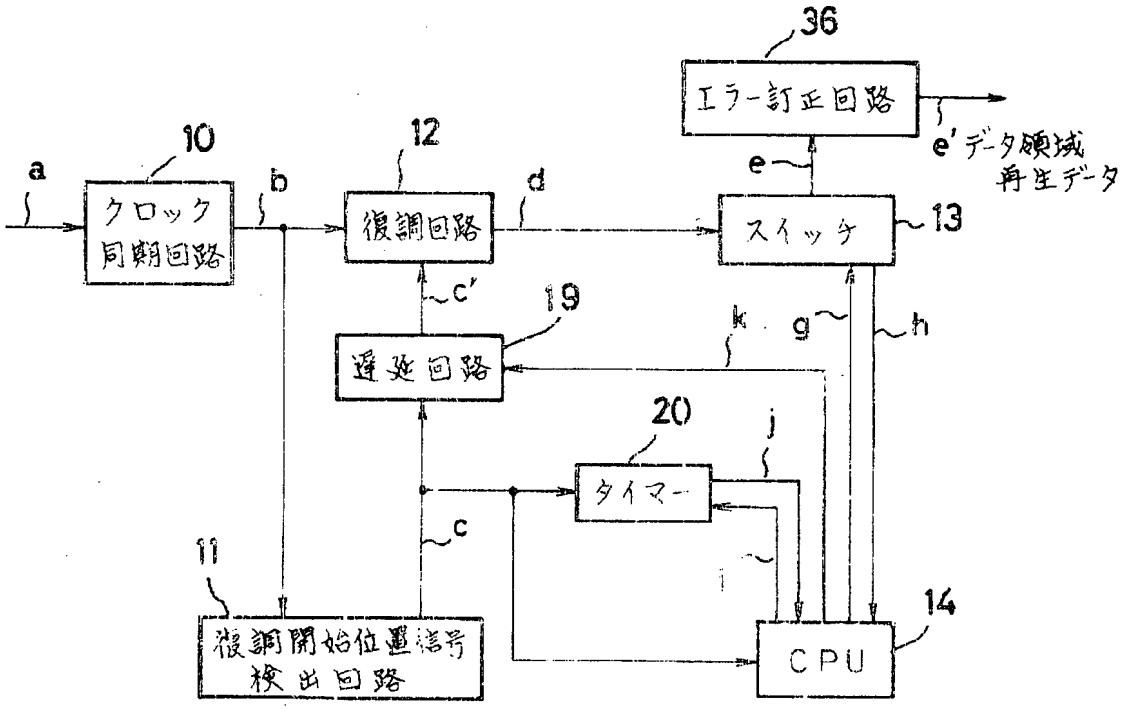
【図6】


パリティデータ
6バイト
128バイト
4フレーム
D0 D4
符号語
P1 P2 P3 P4 P5 P6
D1
ユーザデータ
D2
D3
D511

【図9】


10
12
13
a
b
d
e
クロック同期回路
復調回路
スイッチ
c
h
g
復調開始位置信号検出回路
CPU
11
14

【図7】


36
エラー訂正回路
e'データ領域再生データ
10
12
a
b
d
e
クロック同期回路
復調回路
スイッチ
13
c'
19
k
g
h
遅延回路
20
j
タイマー
c
11
i
14
復調開始位置信号検出回路
CPU

P54757RE2

idem Translations, Inc.

IDEM JOB 0706-101

CERTIFICATION OF ACCURACY

I CERTIFY, UNDER PENALTY OF PERJURY UNDER THE LAWS OF THE UNITED STATES OF AMERICA THAT WE ARE COMPETENT IN **ENGLISH** AND **JAPANESE** AND THAT THE FOLLOWING ARE, TO THE BEST OF OUR KNOWLEDGE AND BELIEF, A TRUE, CORRECT, COMPLETE AND ACCURATE TRANSLATION OF THE ORIGINAL **DOCUMENTS REGARDING PATENT APPLICATION PUBLIC DISCLOSURE NO H4-26959 AND H5-159465.**

JUNE 21, 2007

MARIAM NAYINY
PRESIDENT
IDEM TRANSLATIONS, INC.

550 California Ave. #310 Palo Alto, CA 94306 • Tel: 650.858.4336 • Fax: 650.858.4339 • info@idemtranslations.com • www.idemtranslations.com

(19) Japan Patent Office (JP)

(12) Publication of Unexamined Patent Application (A)

(11) Japan Patent Application Public Disclosure No.: H5-159465

(43) Disclosure Date: June 25, 1993

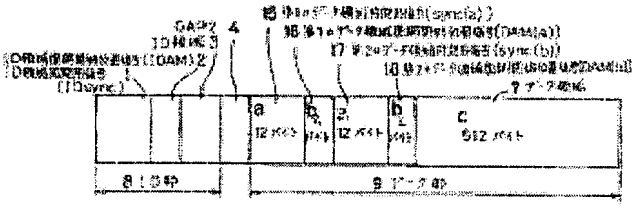
(51) Int. Cl.[5]	ID Symbol		Intra-Agency File No.	FI	Technical Indication Location
G 11 B 20/12			9074-5D		
20/10	351	Z	7923-5D		
20/14	351	A	8322-5D		

Request for examination: Not requested Number of claims: 1 (Total pages: 9)

(21) Application no.: H3-325948 [1991-325948]
(22) Application date: December 10, 1991
(71) Applicant: 000005821
Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.
1006, Oaza-Kadoma, Kadoma City, Osaka Prefecture
(72) Inventor: Hideyuki Kuwano
c/o Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.
1006, Oaza-Kadoma, Kadoma City, Osaka Prefecture
(72) Inventor: Tsukasa Yoshiura
c/o Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.
1006, Oaza-Kadoma, Kadoma City, Osaka Prefecture
(74) Agent: Mototoshi Takeda [name not confirmed], Patent Attorney

(54) [Title of the Invention]
Floppy Disk Device

(57) [Abstract]
[Purpose]
Improves the rate of occurrence of sector errors attributable to the impossibility of clock synchronization, the non-detection of the demodulation start position, etc., as the result of a missing pulse or a burst error, in a floppy disk.
[Constitution]
A plurality of the respective clock synchronization signals sync 1, 15, and 17 and demodulation start position signals DAM 2, 16, and 18 are recorded alternately, multiple respective units at a time, in a sector format; clock synchronization is established by means of any one of the clock synch signals sync; and any one of the demodulation start position signals DAM located thereafter is detected; thus the timing for operating the demodulation circuit is determined.



Key
1 1st data area synch signal (IDsync)
2 ID area demodulation start position signal (I DAM)
3 ID area
7 Data area
8 ID portion
9 Data portion
15 1st data area synchronization signal (sync(a))
16 1st data area demodulation start position signal (DAM (a))
17 2nd data area synchronization signal (sync(b))
18 2nd data area demodulation start position signal (DAM(b))
a 12 bytes
b 4 bytes
c 512 bytes

[Claims]
[Claim 1]

A floppy disk device characterized in that [on it] are recorded alternately multiple copies of both a demodulation start position signal that indicates the demodulation start position of the reproduced data string and a reproduction clock synchronization signal within the sector; and [in that it] is equipped with a means of generating the recorded information in a digital signal from a floppy disk on which information is recorded in sector units, a means of generating a frame synchronization signal from the reproduction clock synchronization signal, a means of detecting the demodulation start position signal and generating a demodulation start indication signal, and a means of demodulating the target data by means of the said demodulation start indication signal.

[Detailed Explanation of the Invention]
[0001]
[Field of Industrial Application]

The present invention relates to a floppy disk device used as an information output device, such as a computer.

[0002]
[Prior Art]

The sector format for a conventional floppy disk (hereinafter abbreviated FD) is shown in Figure 8. In Figure 8, 1 is the ID area synchronization signal (hereinafter abbreviated IDsync) for synchronizing the reproduction device-side clock with the ID area signal; 2 is the ID area demodulation start position signal (hereinafter abbreviated IDAM) that indicates the start of the ID area; 3 is the ID area in which the address information for each sector is recorded; 4 is the GAP2 that functions as a buffer with the data portion during data recording and reproduction; 5 is the data area synchronization signal (hereinafter abbreviated sync) for synchronizing the reproduction device-side clock with the data area signal; 6 is the demodulation start position signal (hereinafter abbreviated DAM) that outputs the data area start position; and 7 is the data area in which user information is recorded.

[0003]

The aforementioned sector format's IDsync 1 to ID area 3 is called ID portion 8, and sync 5 to data area 7 is called data portion 9.

[0004]

Figure 9 is a block diagram showing the configuration of a conventional FD device. In Figure 9, 10 is the clock synchronization circuit that synchronizes the device-side clock with IDsync 1 and sync 5. 11 is the demodulation start position signal detection circuit (hereinafter abbreviated AM detection circuit) that detects IDAM 2 and DAM 6; 12 is the demodulation circuit that demodulates the synchronized signal; 13 is the switch that switches between whether the demodulated data is the ID portion 8 or the data portion 9; and 14 is the CPU.

[0005]

Next, the operation of the aforementioned conventional example will be explained. In Figure 9, a is the reproduction pulse that digitizes the reproduced signal, which is input into the clock synchronization circuit 10. The clock synchronization circuit 10 generates the reproduction clock signal by means of a PLL (phase-locked loop) by using IDsync 1, and [it] outputs the pulse data b synchronized with this reproduction clock signal.

[0006]

The pulse data b is input into the AM detection circuit 11 and the demodulation circuit 12, and in the AM detection circuit 11, IDAM 2 is detected and the frame synchronization signal c is provided to the demodulation circuit 12. In addition, when the frame synchronization signal c is received at the demodulation circuit 12, demodulation is started, and the ID area 3 signal is demodulated into an NRZ (non-return-to-zero) signal. The [resulting] demodulated data d is output and input into the switch 13.

[0007]

At the CPU 14, during the reproduction of the ID portion 8, the ID-data selection signal g is switched so as to output to the CPU side the ID area data h. In this state, the CPU 14 determines the ID area data h. If it does not have the desired address, [the CPU] awaits the next sector; if it has the desired address, [the CPU] switches the switch 13 by means of the ID-data selection signal g, so as to output the data area reproduced data e of the recorded data portion 9.

[0008]

Then, after the aforementioned desired ID detection, the clock synchronization circuit 10 generates the clock signal for reproduction, by using sync 5, and outputs the pulse data b. The pulse data b is input into the AM detection circuit 11 and the demodulation circuit 12, and when DAM 6 is detected by the AM detection circuit 11, [it] provides the frame synchronization signal c to the demodulation circuit 12. Upon receiving the frame synchronization signal c, the demodulation circuit 12 outputs the demodulated data d [obtained] by demodulating the signal of the data area 7 into an NRZ signal, [after which it] outputs the data area reproduced data e via the switch 13.

[0009]

As aforementioned, DAM 6 is an important signal for recognizing the start of data. Formerly, DC erase frequently was used for DAM 6. Recently, however, because data loss (e.g., a missing pulse) sometimes is misdetected as DAM 6, an increasing number of methods use a specific pattern.

[0010]

[Problems That the Invention Is to Solve]

However, in the aforementioned conventional FD device, when DAM 6 cannot be detected because of loss, such as data loss (missing pulse), the data area start position cannot be detected, so it sometimes is impossible to reproduce data.

[0011]

Also, when a significant loss (hereinafter, burst error) of several bytes occurs in sync 5, the PLL cannot synchronize, so the clock signal for reproduction cannot be generated. Consequently, a problem results: It becomes impossible to detect the DAM 6 pattern, and the demodulated data d sometimes is not output faithfully.

[0012]

That is, there is a problem in that a bad sector is produced by the occurrence of a missing pulse or burst error in data portion 9 other than data area sync 5, DAM 6, etc.

[0013]

The present invention solves such conventional problems and aims at providing a superior FD device capable of reducing the incidence of bad sectors attributable to the inability to detect DAM 6 and the inability to generate a reproduction clock signal by means of sync 5, as the result of a burst error, missing pulse, etc.

[0014]

[Means of Solving the Problems]

The present invention is [configured] such that it is equipped alternately with multiple sync and DAM in the sector format, and if either sync or DAM is detected, it is possible to operate the demodulation circuit.

[0015]

[Function of the Invention]

According to the present invention, only a DAM or sync, a plurality of which are provided in the sector format, needs to be detected, which significantly reduces the incidence of bad sectors attributable to the inability to detect DAM and the inability to generate a reproduction clock signal by means of sync.

[0016]

[Embodiments]

Figure 1 shows the sector format in one embodiment of the present invention. In Figure 1, 15 is the 12-byte 1st data area synchronization signal (hereinafter abbreviated sync(a)), 16 is the 4-byte 1st data area demodulation start position signal (hereinafter abbreviated DAM(a)), 17 is the 12-byte 2nd data area synchronization signal (hereinafter abbreviated sync(b)), 18 is the 4-byte 2nd data area demodulation start position signal (hereinafter abbreviated DAM(b)), and the other symbols are as explained in Figure 8.

[0017]

Figure 2 is a block diagram showing the configuration of the FD device of the first embodiment of the present invention. In Figure 2, members 10 through 14 correspond to [those in] Figure 9 or have equivalent functionality. As for the other symbols, 19 is the delay circuit, and 20 is the timer.

[0018]

Next, the operation of the aforementioned first embodiment of the present invention will be explained. a is input into the clock synchronization circuit 10 in the reproduction pulse [obtained by] digitizing a reproduction signal. The clock synchronization circuit 10 generates a reproduction clock signal by using IDsync 1 (see Figure 1) and outputs pulse data b synchronized with this reproduction clock signal.

[0019]

The pulse data b is input into the AM detection circuit 11, and when the IDAM 2 is detected, the frame synchronization signal c is output, after which [it] is input into a delay circuit 19. The amount of delay of the delay circuit 19 is controlled by the delay indication signal k from the CPU 14, and the amount of delay is set to 0 in ID area 3.

[0020]

Consequently, the frame synchronization signal c' is output from the delay circuit 19 to the demodulation circuit 12, but the timing in ID area 3 is identical to the frame synchronization signal c output from the AM detection circuit 11. Demodulation starts at the demodulation circuit 12 that received the frame synchronization signal c', and the demodulated data d [obtained by] demodulating the ID area 3 signal to an NRZ signal is output, after which it is input at switch 13.

[0021]

At the CPU 14, the ID-data selection signal g is switched so that, during the reproduction of the ID portion 8, the switch 13 outputs the ID area data h to the CPU 14. In this state, the CPU 14 detects the ID area data h. If [the address] is not the desired address, it awaits the next sector; if it is, it switches the ID-data selection signal g so that the switch 13 outputs the data area reproduced data e, for the continuously recorded data portion.

[0022]

Figure 3 is a flowchart showing the reproduction operation of the data portion 9, after the detection of the aforementioned desired ID area 3. Next, this figure will be used to explain the operation, with "step" abbreviated as S.

[0023]

First, at S1, the ID area 3 of the address, in which is recorded the desired data, is detected by means of the aforementioned procedure. At S2, after the desired ID area 3 is read, the reproduction clock signal is generated by using sync(a)[i] 15 in the clock synchronization circuit 10. At S3(a), [execution] waits until DAM(a) 16 is input by the AM detection circuit 11. If there is no problem, DAM(a) 16 is detected and the frame synchronization signal c is output to the delay circuit 19, the CPU 14, and the timer 20.

---

[i] Translator's note: The Japanese patent contains the typo "syne(a)."

[0024]

Then, at S5(a), the delay circuit 19 delays the frame synchronization signal c received from the AM detection circuit 11, by the amount of sync(b) 17 and DAM(b) 18 (i.e., by 16 bytes) and outputs the frame synchronization c' to the demodulation circuit 12. At the demodulation circuit 12, this frame synchronization c' is received, and the reproduction pulse for the data area 7 is demodulated and output as the demodulated data d.

[0025]

When DAM(a) 16 is detected at the aforementioned S3(a), the loop S4(a) is used to monitor with the timer 20 the time from the detection of the ID area 3 to the detection of DAM(a) 16.

[0026]

Next explained will be the timeout process for the Y case at S4(a), where the time from the detection of the ID area 3 to the detection of the DAM(a) 16 exceeds a given time period. If DAM(a) 16 is not detected even after the time from the detection of the ID area 3 to the detection of DAM(a) 16 exceeds the amounts of sync(a) 15 and DAM(a) 16 (i.e., after the passage of 16 bytes), at S3(b) DAM(b) 18 is detected and the frame synchronization signal c is output to the delay circuit 19.

[0027]

At the delay circuit 19, the frame synchronization signal c' is output without delaying the frame synchronization signal c. That is, synchronization is established by sync(a) 15, and at S5(b) DAM(a) 16 and sync(b) 17 are skipped and DAM(b) 18 is detected.

[0028]

The two causes of the non-detection of DAM(a) 16 are, first, a defective DAM(a) 16 itself and, second, the inability to detect the reproduction block signal because is was not generated by sync(a) 15. In the former case, the data area reproduced data e for detecting DAM(b) 18 by means of the aforementioned procedure is output; however, in the latter case, DAM(b) 18 also is undetectable by means of the aforementioned procedure. In this case, it is possible to detect DAM(b) 18 by means of the retry routine at S7. Next, this retry routine procedure will be explained with reference to Figure 4.

[0029]

That is, Figure 4 is a flowchart showing the retry routine. S8 indicates an ID detection means identical to [that of] S2. At S8, when the desired ID area 3 is detected, the clock synchronization circuit 10 is operated after a delay in the amount of sync(a) 15 and DAM(a) 16 (i.e., 16 bytes).

[0030]

Next, at the clock synchronization circuit 10, sync(b) 17 is used to generate the playback clock signal, the AM detection circuit 11 detects DAM(b) 18, and the frame synchronization signal c is output as the result of this detection. The frame synchronization signal c is input into the delay circuit 19 (S9). Here, however, the frame

synchronization signal c' is output without a delay (S10). The frame synchronization signal c' is input into the demodulation circuit 12, DAM(b) is output (S11), and the reproduced data e of data area 7 is output (S13). Also, at S11, if DAM(b) is not detected, a timeout (S12) results, so reproduction becomes impossible (S14).

[0031]

Consequently, according to the present embodiment, by alternately disposing multiple data area demodulation start position signals and synchronization signals, and by disposing the data area demodulation start position signal or multiple [copies] thereof, even if a bad sector results from a burst error of synchronization signal sync(a) or data area demodulation start position signal (DAM)(a), either of the data area demodulation start positions signals DAM(b) located thereafter may be detected, thereby dramatically improving the incidence of bad sectors attributable to error, in data portion 8.

[0032]

The sector format in the second embodiment of the present invention is shown in Figure 5. In the second embodiment, error-correction parity bytes 35 are added to the data portion of the first embodiment, and this is an error-correction code called interleaved Reed-Solomon.

[0033]

Figure 6 is a diagram showing the format of the error-correction code in Figure 5. The performance of the error-correction code of Figure 6 enables triple error [correction] of random errors. Also, for burst errors, it is possible to correct up to 11 continuous bytes of errors. Consequently, for the data area and error-correction parity bytes 35, it is possible to output the correct data area reproduced data e by means of the error-correction function, for burst errors up to 11 bytes.

[0034]

Figure 7 is the block diagram showing the configuration of the FD device of the second embodiment of the present invention. 36 is the error-correction circuit, and other symbols not explained hereinafter indicate functionalities identical or equivalent to those of symbols in previous diagrams.

[0035]

Regarding the operation of the second embodiment of the present invention, when an error occurs in the data area reproduced data e reproduced by means of the procedure in the first embodiment of the present invention, error-correction processing is performed by the error-correction circuit 36, and [the result] is output as the data area reproduced data e'.

[0036]

In addition, even if a burst error up to 11 bytes long occurs in the area in which sync and DAM are recorded, only one of the multiple recorded syncs [or] DAMs will become an error. Consequently, according to this second embodiment, even if a burst error up to 11 bytes is present anywhere in data portion 9, the correct data area reproduced data e' will be output.

[0037]

Here, supposing that the same error-correction parity bytes 35 as [those] in the second embodiment are added to the conventional sector format, when a burst error occurs in the data area 7 and the error-correction parity bytes 35, the correct data area reproduced data e can be output. However, when a burst error occurs elsewhere than in data area 7 [or] the error-correction parity bytes 35 (i.e., when a burst error occurs in sync 5 or DAM 6), DAM 6 cannot be detected, so the demodulation circuit 12 cannot operate and the center data cannot be reproduced.

[0038]

Consequently, when an error is caused by a burst error in the data portion 9, if a sync 5 and DAM 6 burst error occurs in the conventional sector format, the data cannot be reproduced, and it is highly probable that a bad sector will result. In the aforementioned second embodiment, however, the incidence of bad sectors resulting from sync and DAM burst errors is improved considerably.

[0039]

Thus, the aforementioned second embodiment has [the following] effects: It is only necessary to detect either the first sync(a) 15 [or] the second sync(b) 17 as well as either DAM(a) 16 [or] DAM(b) 18 located thereafter, so there is considerable improvement in the incidence of bad sectors attributable to the inability to generate the clock signal for reproduction and the inability to detect DAM, and the burst error-correction capability of the error-correction circuit 18 can be utilized well.

[0040]

[Effects of the Invention]

The floppy disk device of the present invention, which was explained previously, is equipped with multiple, alternate sync and DAM in the sector format, and [it] can considerably reduce the incidence of bad sectors attributable to the inability to detect DAM because it is possible to reproduce the data area by generating a reproduction clock signal by means of either sync and detecting either DAM located thereafter.

[0041]

In addition, when an error-correction code is added to the data area to reduce the incidence of bad sectors attributable to bad sectors, each DAM is disposed at least the correctable burst error length apart, and sync is recorded thereafter. As a result, it is possible to significantly reduce the incidence of bad sectors attributable to DAM detection mistakes and reproduction clock signal generation trouble. Therefore, it is possible to make good use of the burst error-correction capability of the error-correction circuit.

[Brief Explanation of the Drawings]

[Figure 1]

A diagram showing the sector format in the first embodiment of the present invention.

[Figure 2]

A block diagram showing the configuration of the FD device in the first embodiment of the present invention.

[Figure 3]

A flowchart showing the configuration of the FD device of Figure 2.

[Figure 4]

The retry routine flowchart that explains the operation of the FD device of Figure 2.

[Figure 5]

A diagram showing the sector format in the second embodiment of the present invention.

[Figure 6]

A diagram showing the error-correction code format in Figure 5.

[Figure 7]

A block diagram showing the configuration of the FD device in the second embodiment of the present invention.

[Figure 8]

A diagram showing the sector format of a conventional FD device.

[Figure 9]

A block diagram showing the configuration of a conventional FD device.

[Explanation of the Symbols]

1 ID area synchronization signal (IDsync)
2 ID area demodulation start position signal (IDAM)
3 ID area
4 GAP2
7 Data area
8 ID portion
9 Data portion
10 Clock synchronization circuit
11 Demodulation start position signal detection circuit (AM detection circuit)
12 Demodulation circuit
14 CPU
15 1st data area synchronization signal (sync(a))
16 1st data area demodulation start position signal (DAM(a))
17 2nd data area synchronization signal (sync(b))
18 2nd data area demodulation start position signal (DAM(b))
19 Delay circuit
20 Timer
35 Error-correction parity bytes
36 Error-correction circuit

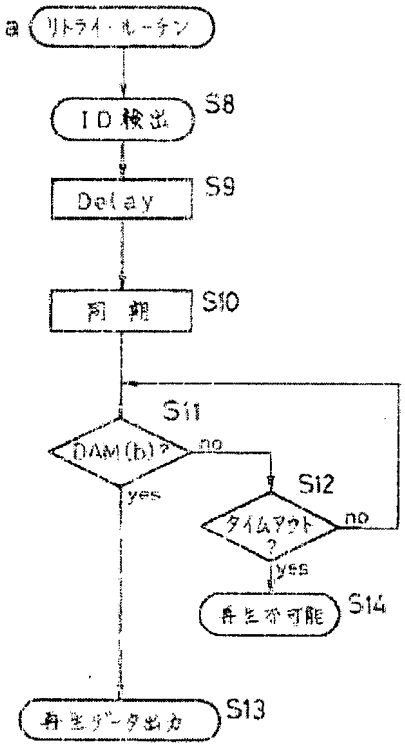


Figure 4

Key
a Retry routine
S8 ID detection
S10 Synchronization
S12 Timeout?
S13 Reproduced data output
S14 Reproduction impossible

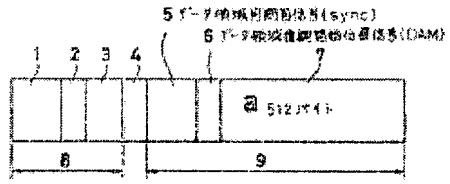


Figure 8

Key
5 Data area synchronization signal (sync)
6 Data area demodulation start position signal (DAM)
a 512 bytes

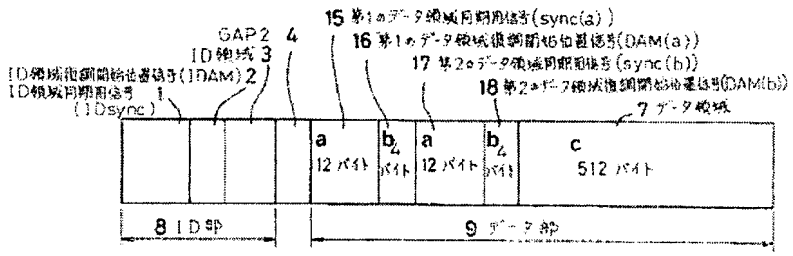


Figure 1

Key
1 ID area synchronization signal (IDsync)
2 ID area demodulation start position signal (IDAM)
3 ID area
7 Data area
8 ID portion
9 Data portion
15 1st data area synchronization signal (sync(a))
16 1st data area demodulation start position signal (DAM(a))
17 2nd data area synchronization signal (sync(b))
18 2nd data area demodulation start position signal (DAM(b))
a 12 bytes
b 4 bytes
c 512 bytes

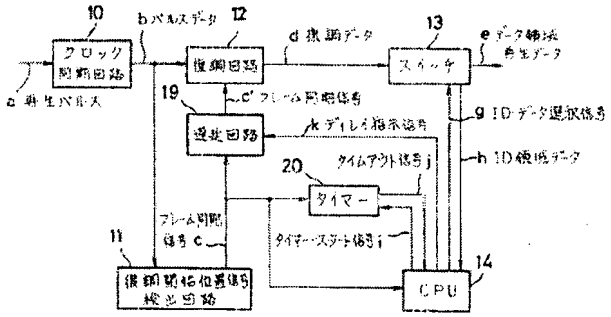


Figure 2

Key
10 Clock sync circuit
11 Demodulation start position signal detection circuit
12 Demodulation circuit
13 Switch
19 Delay circuit
20 Timer
a Reproduction pulse
b Pulse data
c Frame synchronization signal
c' Frame synchronization signal
d Demodulated data
e Data area reproduced data
g ID-data select signal
h ID area data
i Timer start signal
j Timeout signal
k Delay indication signal

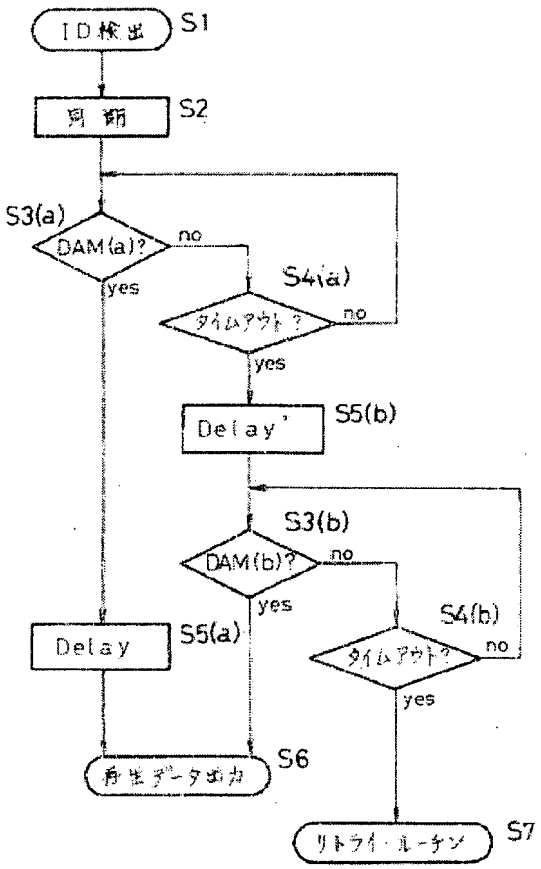


Figure 3

Key

S1	ID detection
S2	Synchronization
S4(a)	Timeout?
S4(b)	Timeout?
S6	Reproduced data output
S7	Retry routine

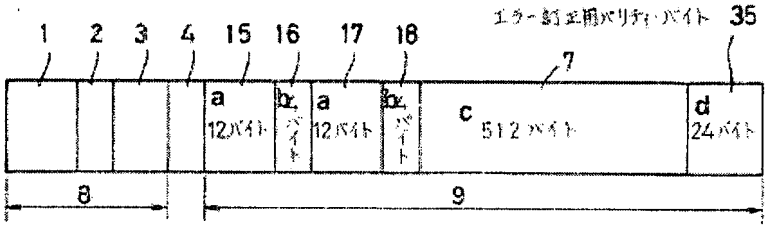


Figure 5

Key
7 512 bytes
a 12 bytes
b 4 bytes
c 512 bytes
d 24 bytes

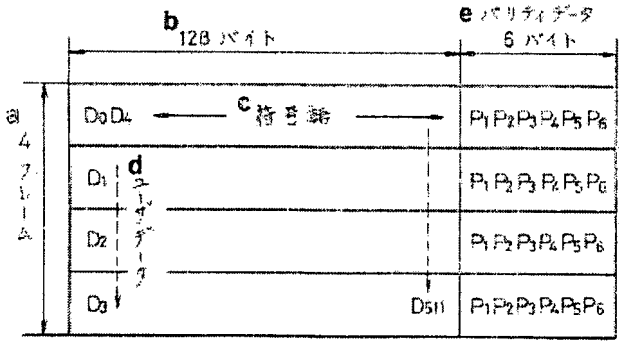


Figure 6

Key
a 4 frames
b 128 bytes
c Code words
d User data
e Parity data, 6 bytes

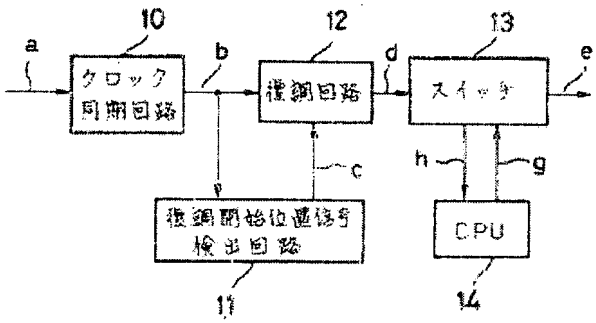


Figure 9

Key
10 Clock sync circuit
11 Demodulation start position signal detection circuit
12 Demodulation circuit
13 Switch

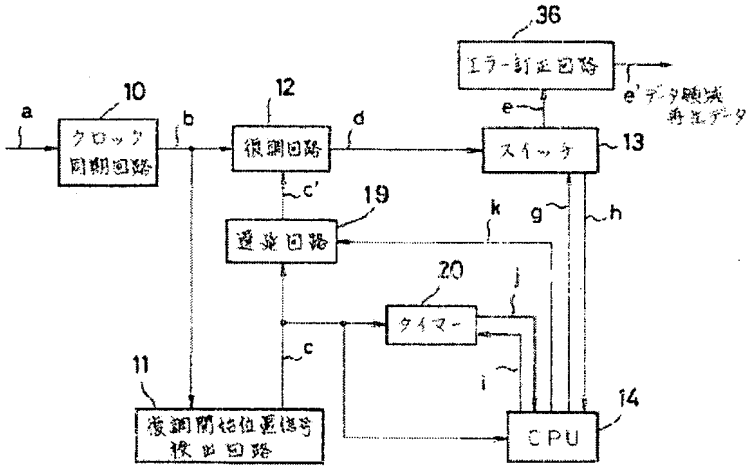


Figure 7

Key

10 Clock sync circuit
11 Demodulation start position signal detection circuit
12 Demodulation circuit
13 Switch
19 Delay circuit
20 Timer
36 Error-correction circuit
e' Data area reproduced data

(19) Japan Patent Office (JP)

(12) Publication of Unexamined Patent Application (A)

(11) Japan Patent Application Public Disclosure No.: H5-159465

(43) Disclosure Date: June 25, 1993

(51) Int. Cl.[5]	ID Symbol		Intra-Agency File No.	FI	Technical Indication Location
G 11 B 20/12			9074-5D		
20/10	351	Z	7923-5D		
20/14	351	A	8322-5D		

Request for examination: Not requested Number of claims: 1 (Total pages: 9)

(21) Application no.: H3-325948 [1991-325948]

(22) Application date: December 10, 1991

(71) Applicant: 000005821
Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.
1006, Oaza-Kadoma, Kadoma City, Osaka Prefecture

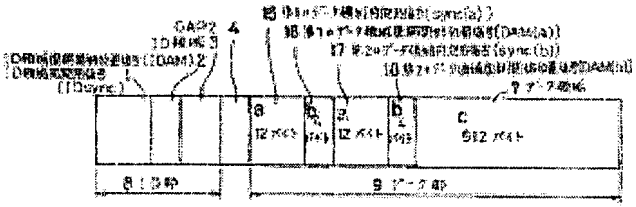
(72) Inventor: Hideyuki Kuwano
c/o Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.
1006, Oaza-Kadoma, Kadoma City, Osaka Prefecture

(72) Inventor: Tsukasa Yoshiura
c/o Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.
1006, Oaza-Kadoma, Kadoma City, Osaka Prefecture

(74) Agent: Mototoshi Takeda [name not confirmed], Patent Attorney

(54) [Title of the Invention]
Floppy Disk Device

(57) [Abstract]
[Purpose]
Improves the rate of occurrence of sector errors attributable to the impossibility of clock synchronization, the non-detection of the demodulation start position, etc., as the result of a missing pulse or a burst error, in a floppy disk.
[Constitution]
A plurality of the respective clock synchronization signals sync 1, 15, and 17 and demodulation start position signals DAM 2, 16, and 18 are recorded alternately, multiple respective units at a time, in a sector format; clock synchronization is established by means of any one of the clock synch signals sync; and any one of the demodulation start position signals DAM located thereafter is detected; thus the timing for operating the demodulation circuit is determined.



Key
1 1st data area synch signal (IDsync)
2 ID area demodulation start position signal (I DAM)
3 ID area
7 Data area
8 ID portion
9 Data portion
15 1st data area synchronization signal (sync(a))
16 1st data area demodulation start position signal (DAM (a))
17 2nd data area synchronization signal (sync(b))
18 2nd data area demodulation start position signal (DAM(b))
a 12 bytes
b 4 bytes
c 512 bytes

[Claims]
[Claim 1]

A floppy disk device characterized in that [on it] are recorded alternately multiple copies of both a demodulation start position signal that indicates the demodulation start position of the reproduced data string and a reproduction clock synchronization signal within the sector; and [in that it] is equipped with a means of generating the recorded information in a digital signal from a floppy disk on which information is recorded in sector units, a means of generating a frame synchronization signal from the reproduction clock synchronization signal, a means of detecting the demodulation start position signal and generating a demodulation start indication signal, and a means of demodulating the target data by means of the said demodulation start indication signal.

[Detailed Explanation of the Invention]
[0001]
[Field of Industrial Application]

The present invention relates to a floppy disk device used as an information output device, such as a computer.

[0002]
[Prior Art]

The sector format for a conventional floppy disk (hereinafter abbreviated FD) is shown in Figure 8. In Figure 8, 1 is the ID area synchronization signal (hereinafter abbreviated IDsync) for synchronizing the reproduction device-side clock with the ID area signal; 2 is the ID area demodulation start position signal (hereinafter abbreviated IDAM) that indicates the start of the ID area; 3 is the ID area in which the address information for each sector is recorded; 4 is the GAP2 that functions as a buffer with the data portion during data recording and reproduction; 5 is the data area synchronization signal (hereinafter abbreviated sync) for synchronizing the reproduction device-side clock with the data area signal; 6 is the demodulation start position signal (hereinafter abbreviated DAM) that outputs the data area start position; and 7 is the data area in which user information is recorded.

[0003]

The aforementioned sector format's IDsync 1 to ID area 3 is called ID portion 8, and sync 5 to data area 7 is called data portion 9.

[0004]

Figure 9 is a block diagram showing the configuration of a conventional FD device. In Figure 9, 10 is the clock synchronization circuit that synchronizes the device-side clock with IDsync 1 and sync 5. 11 is the demodulation start position signal detection circuit (hereinafter abbreviated AM detection circuit) that detects IDAM 2 and DAM 6; 12 is the demodulation circuit that demodulates the synchronized signal; 13 is the switch that switches between whether the demodulated data is the ID portion 8 or the data portion 9; and 14 is the CPU.

[0005]

Next, the operation of the aforementioned conventional example will be explained. In Figure 9, a is the reproduction pulse that digitizes the reproduced signal, which is input into the clock synchronization circuit 10. The clock synchronization circuit 10 generates the reproduction clock signal by means of a PLL (phase-locked loop) by using IDsync 1, and [it] outputs the pulse data b synchronized with this reproduction clock signal.

[0006]

The pulse data b is input into the AM detection circuit 11 and the demodulation circuit 12, and in the AM detection circuit 11, IDAM 2 is detected and the frame synchronization signal c is provided to the demodulation circuit 12. In addition, when the frame synchronization signal c is received at the demodulation circuit 12, demodulation is started, and the ID area 3 signal is demodulated into an NRZ (non-return-to-zero) signal. The [resulting] demodulated data d is output and input into the switch 13.

[0007]

At the CPU 14, during the reproduction of the ID portion 8, the ID-data selection signal g is switched so as to output to the CPU side the ID area data h. In this state, the CPU 14 determines the ID area data h. If it does not have the desired address, [the CPU] awaits the next sector; if it has the desired address, [the CPU] switches the switch 13 by means of the ID-data selection signal g, so as to output the data area reproduced data e of the recorded data portion 9.

[0008]

Then, after the aforementioned desired ID detection, the clock synchronization circuit 10 generates the clock signal for reproduction, by using sync 5, and outputs the pulse data b. The pulse data b is input into the AM detection circuit 11 and the demodulation circuit 12, and when DAM 6 is detected by the AM detection circuit 11, [it] provides the frame synchronization signal c to the demodulation circuit 12. Upon receiving the frame synchronization signal c, the demodulation circuit 12 outputs the demodulated data d [obtained] by demodulating the signal of the data area 7 into an NRZ signal, [after which it] outputs the data area reproduced data e via the switch 13.

[0009]

As aforementioned, DAM 6 is an important signal for recognizing the start of data. Formerly, DC erase frequently was used for DAM 6. Recently, however, because data loss (e.g., a missing pulse) sometimes is misdetected as DAM 6, an increasing number of methods use a specific pattern.

[0010]

[Problems That the Invention Is to Solve]

However, in the aforementioned conventional FD device, when DAM 6 cannot be detected because of loss, such as data loss (missing pulse), the data area start position cannot be detected, so it sometimes is impossible to reproduce data.

[0011]

Also, when a significant loss (hereinafter, burst error) of several bytes occurs in sync 5, the PLL cannot synchronize, so the clock signal for reproduction cannot be generated. Consequently, a problem results: It becomes impossible to detect the DAM 6 pattern, and the demodulated data d sometimes is not output faithfully.

[0012]

That is, there is a problem in that a bad sector is produced by the occurrence of a missing pulse or burst error in data portion 9 other than data area sync 5, DAM 6, etc.

[0013]

The present invention solves such conventional problems and aims at providing a superior FD device capable of reducing the incidence of bad sectors attributable to the inability to detect DAM 6 and the inability to generate a reproduction clock signal by means of sync 5, as the result of a burst error, missing pulse, etc.

[0014]

[Means of Solving the Problems]

The present invention is [configured] such that it is equipped alternately with multiple sync and DAM in the sector format, and if either sync or DAM is detected, it is possible to operate the demodulation circuit.

[0015]

[Function of the Invention]

According to the present invention, only a DAM or sync, a plurality of which are provided in the sector format, needs to be detected, which significantly reduces the incidence of bad sectors attributable to the inability to detect DAM and the inability to generate a reproduction clock signal by means of sync.

[0016]

[Embodiments]

Figure 1 shows the sector format in one embodiment of the present invention. In Figure 1, 15 is the 12-byte 1st data area synchronization signal (hereinafter abbreviated sync(a)), 16 is the 4-byte 1st data area demodulation start position signal (hereinafter abbreviated DAM(a)), 17 is the 12-byte 2nd data area synchronization signal (hereinafter abbreviated sync(b)), 18 is the 4-byte 2nd data area demodulation start position signal (hereinafter abbreviated DAM(b)), and the other symbols are as explained in Figure 8.

[0017]

Figure 2 is a block diagram showing the configuration of the FD device of the first embodiment of the present invention. In Figure 2, members 10 through 14 correspond to [those in] Figure 9 or have equivalent functionality. As for the other symbols, 19 is the delay circuit, and 20 is the timer.

[0018]

Next, the operation of the aforementioned first embodiment of the present invention will be explained. a is input into the clock synchronization circuit 10 in the reproduction pulse [obtained by] digitizing a reproduction signal. The clock synchronization circuit 10 generates a reproduction clock signal by using IDsync 1 (see Figure 1) and outputs pulse data b synchronized with this reproduction clock signal.

[0019]

The pulse data b is input into the AM detection circuit 11, and when the IDAM 2 is detected, the frame synchronization signal c is output, after which [it] is input into a delay circuit 19. The amount of delay of the delay circuit 19 is controlled by the delay indication signal k from the CPU 14, and the amount of delay is set to 0 in ID area 3.

[0020]

Consequently, the frame synchronization signal c' is output from the delay circuit 19 to the demodulation circuit 12, but the timing in ID area 3 is identical to the frame synchronization signal c output from the AM detection circuit 11. Demodulation starts at the demodulation circuit 12 that received the frame synchronization signal c', and the demodulated data d [obtained by] demodulating the ID area 3 signal to an NRZ signal is output, after which it is input at switch 13.

[0021]

At the CPU 14, the ID-data selection signal g is switched so that, during the reproduction of the ID portion 8, the switch 13 outputs the ID area data h to the CPU 14. In this state, the CPU 14 detects the ID area data h. If [the address] is not the desired address, it awaits the next sector; if it is, it switches the ID-data selection signal g so that the switch 13 outputs the data area reproduced data e, for the continuously recorded data portion.

[0022]

Figure 3 is a flowchart showing the reproduction operation of the data portion 9, after the detection of the aforementioned desired ID area 3. Next, this figure will be used to explain the operation, with "step" abbreviated as S.

[0023]

First, at S1, the ID area 3 of the address, in which is recorded the desired data, is detected by means of the aforementioned procedure. At S2, after the desired ID area 3 is read, the reproduction clock signal is generated by using sync(a)[1] 15 in the clock synchronization circuit 10. At S3(a), [execution] waits until DAM(a) 16 is input by the AM detection circuit 11. If there is no problem, DAM(a) 16 is detected and the frame synchronization signal c is output to the delay circuit 19, the CPU 14, and the timer 20.

---

[1] Translator's note: The Japanese patent contains the typo "syne(a)."

[0024]

Then, at S5(a), the delay circuit 19 delays the frame synchronization signal c received from the AM detection circuit 11, by the amount of sync(b) 17 and DAM(b) 18 (i.e., by 16 bytes) and outputs the frame synchronization c' to the demodulation circuit 12. At the demodulation circuit 12, this frame synchronization c' is received, and the reproduction pulse for the data area 7 is demodulated and output as the demodulated data d.

[0025]

When DAM(a) 16 is detected at the aforementioned S3(a), the loop S4(a) is used to monitor with the timer 20 the time from the detection of the ID area 3 to the detection of DAM(a) 16.

[0026]

Next explained will be the timeout process for the Y case at S4(a), where the time from the detection of the ID area 3 to the detection of the DAM(a) 16 exceeds a given time period. If DAM(a) 16 is not detected even after the time from the detection of the ID area 3 to the detection of DAM(a) 16 exceeds the amounts of sync(a) 15 and DAM(a) 16 (i.e., after the passage of 16 bytes), at S3(b) DAM(b) 18 is detected and the frame synchronization signal c is output to the delay circuit 19.

[0027]

At the delay circuit 19, the frame synchronization signal c' is output without delaying the frame synchronization signal c. That is, synchronization is established by sync(a) 15, and at S5(b) DAM(a) 16 and sync(b) 17 are skipped and DAM(b) 18 is detected.

[0028]

The two causes of the non-detection of DAM(a) 16 are, first, a defective DAM(a) 16 itself and, second, the inability to detect the reproduction block signal because is was not generated by sync(a) 15. In the former case, the data area reproduced data e for detecting DAM(b) 18 by means of the aforementioned procedure is output; however, in the latter case, DAM(b) 18 also is undetectable by means of the aforementioned procedure. In this case, it is possible to detect DAM(b) 18 by means of the retry routine at S7. Next, this retry routine procedure will be explained with reference to Figure 4.

[0029]

That is, Figure 4 is a flowchart showing the retry routine. S8 indicates an ID detection means identical to [that of] S2. At S8, when the desired ID area 3 is detected, the clock synchronization circuit 10 is operated after a delay in the amount of sync(a) 15 and DAM(a) 16 (i.e., 16 bytes).

[0030]

Next, at the clock synchronization circuit 10, sync(b) 17 is used to generate the playback clock signal, the AM detection circuit 11 detects DAM(b) 18, and the frame synchronization signal c is output as the result of this detection. The frame synchronization signal c is input into the delay circuit 19 (S9). Here, however, the frame

synchronization signal c' is output without a delay (S10). The frame synchronization signal c' is input into the demodulation circuit 12, DAM(b) is output (S11), and the reproduced data e of data area 7 is output (S13). Also, at S11, if DAM(b) is not detected, a timeout (S12) results, so reproduction becomes impossible (S14).

[0031]

Consequently, according to the present embodiment, by alternately disposing multiple data area demodulation start position signals and synchronization signals, and by disposing the data area demodulation start position signal or multiple [copies] thereof, even if a bad sector results from a burst error of synchronization signal sync(a) or data area demodulation start position signal (DAM)(a), either of the data area demodulation start positions signals DAM(b) located thereafter may be detected, thereby dramatically improving the incidence of bad sectors attributable to error, in data portion 8.

[0032]

The sector format in the second embodiment of the present invention is shown in Figure 5. In the second embodiment, error-correction parity bytes 35 are added to the data portion of the first embodiment, and this is an error-correction code called interleaved Reed-Solomon.

[0033]

Figure 6 is a diagram showing the format of the error-correction code in Figure 5. The performance of the error-correction code of Figure 6 enables triple error [correction] of random errors. Also, for burst errors, it is possible to correct up to 11 continuous bytes of errors. Consequently, for the data area and error-correction parity bytes 35, it is possible to output the correct data area reproduced data e by means of the error-correction function, for burst errors up to 11 bytes.

[0034]

Figure 7 is the block diagram showing the configuration of the FD device of the second embodiment of the present invention. 36 is the error-correction circuit, and other symbols not explained hereinafter indicate functionalities identical or equivalent to those of symbols in previous diagrams.

[0035]

Regarding the operation of the second embodiment of the present invention, when an error occurs in the data area reproduced data e reproduced by means of the procedure in the first embodiment of the present invention, error-correction processing is performed by the error-correction circuit 36, and [the result] is output as the data area reproduced data e'.

[0036]

In addition, even if a burst error up to 11 bytes long occurs in the area in which sync and DAM are recorded, only one of the multiple recorded syncs [or] DAMs will become an error. Consequently, according to this second embodiment, even if a burst error up to 11 bytes is present anywhere in data portion 9, the correct data area reproduced data e' will be output.

[0037]

Here, supposing that the same error-correction parity bytes 35 as [those] in the second embodiment are added to the conventional sector format, when a burst error occurs in the data area 7 and the error-correction parity bytes 35, the correct data area reproduced data e can be output. However, when a burst error occurs elsewhere than in data area 7 [or] the error-correction parity bytes 35 (i.e., when a burst error occurs in sync 5 or DAM 6), DAM 6 cannot be detected, so the demodulation circuit 12 cannot operate and the center data cannot be reproduced.

[0038]

Consequently, when an error is caused by a burst error in the data portion 9, if a sync 5 and DAM 6 burst error occurs in the conventional sector format, the data cannot be reproduced, and it is highly probable that a bad sector will result. In the aforementioned second embodiment, however, the incidence of bad sectors resulting from sync and DAM burst errors is improved considerably.

[0039]

Thus, the aforementioned second embodiment has [the following] effects: It is only necessary to detect either the first sync(a) 15 [or] the second sync(b) 17 as well as either DAM(a) 16 [or] DAM(b) 18 located thereafter, so there is considerable improvement in the incidence of bad sectors attributable to the inability to generate the clock signal for reproduction and the inability to detect DAM, and the burst error-correction capability of the error-correction circuit 18 can be utilized well.

[0040]

[Effects of the Invention]

The floppy disk device of the present invention, which was explained previously, is equipped with multiple, alternate sync and DAM in the sector format, and [it] can considerably reduce the incidence of bad sectors attributable to the inability to detect DAM, because it is possible to reproduce the data area by generating a reproduction clock signal by means of either sync and detecting either DAM located thereafter.

[0041]

In addition, when an error-correction code is added to the data area to reduce the incidence of bad sectors attributable to bad sectors, each DAM is disposed at least the correctable burst error length apart, and sync is recorded thereafter. As a result, it is possible to significantly reduce the incidence of bad sectors attributable to DAM detection mistakes and reproduction clock signal generation trouble. Therefore, it is possible to make good use of the burst error-correction capability of the error-correction circuit.

[Brief Explanation of the Drawings]

[Figure 1]

A diagram showing the sector format in the first embodiment of the present invention.

[Figure 2]

A block diagram showing the configuration of the FD device in the first embodiment of the present invention.

[Figure 3]

A flowchart showing the configuration of the FD device of Figure 2.

[Figure 4]

The retry routine flowchart that explains the operation of the FD device of Figure 2.

[Figure 5]

A diagram showing the sector format in the second embodiment of the present invention.

[Figure 6]

A diagram showing the error-correction code format in Figure 5.

[Figure 7]

A block diagram showing the configuration of the FD device in the second embodiment of the present invention.

[Figure 8]

A diagram showing the sector format of a conventional FD device.

[Figure 9]

A block diagram showing the configuration of a conventional FD device.

[Explanation of the Symbols]

1 ID area synchronization signal (IDsync)
2 ID area demodulation start position signal (IDAM)
3 ID area
4 GAP2
7 Data area
8 ID portion
9 Data portion
10 Clock synchronization circuit
11 Demodulation start position signal detection circuit (AM detection circuit)
12 Demodulation circuit
14 CPU
15 1st data area synchronization signal (sync(a))
16 1st data area demodulation start position signal (DAM(a))
17 2nd data area synchronization signal (sync(b))
18 2nd data area demodulation start position signal (DAM(b))
19 Delay circuit
20 Timer
35 Error-correction parity bytes
36 Error-correction circuit

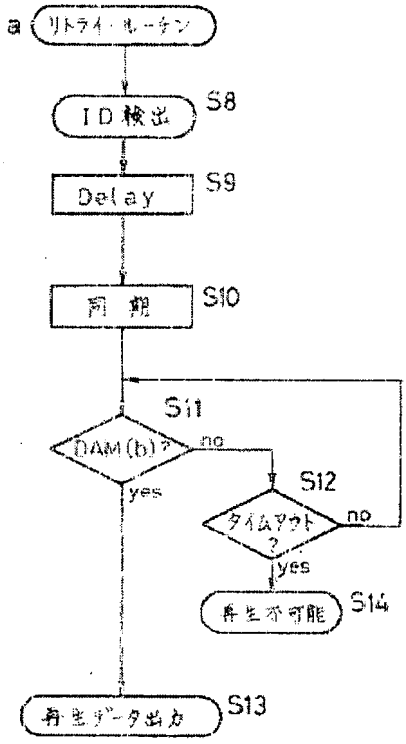


Figure 4

Key
a Retry routine
S8 ID detection
S10 Synchronization
S12 Timeout?
S13 Reproduced data output
S14 Reproduction impossible

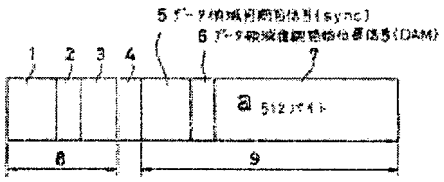


Figure 8

Key
5 Data area synchronization signal (sync)
6 Data area demodulation start position signal (DAM)
a 512 bytes

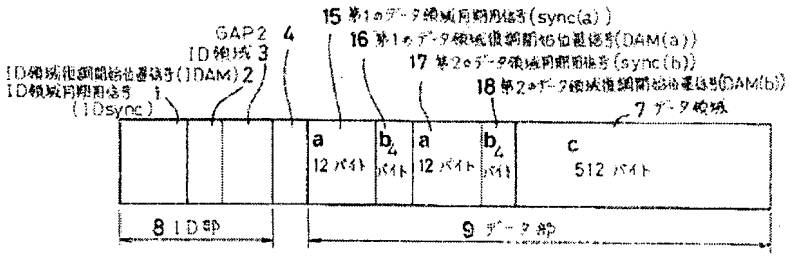


Figure 1

Key
1 ID area synchronization signal (IDsync)
2 ID area demodulation start position signal (IDAM)
3 ID area
7 Data area
8 ID portion
9 Data portion
15 1st data area synchronization signal (sync(a))
16 1st data area demodulation start position signal (DAM(a))
17 2nd data area synchronization signal (sync(b))
18 2nd data area demodulation start position signal (DAM(b))
a 12 bytes
b 4 bytes
c 512 bytes

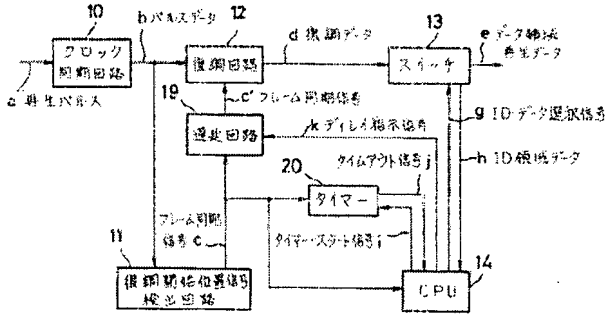


Figure 2

Key
10 Clock sync circuit
11 Demodulation start position signal detection circuit
12 Demodulation circuit
13 Switch
19 Delay circuit
20 Timer
a Reproduction pulse
b Pulse data
c Frame synchronization signal
c' Frame synchronization signal
d Demodulated data
e Data area reproduced data
g ID-data select signal
h ID area data
i Timer start signal
j Timeout signal
k Delay indication signal

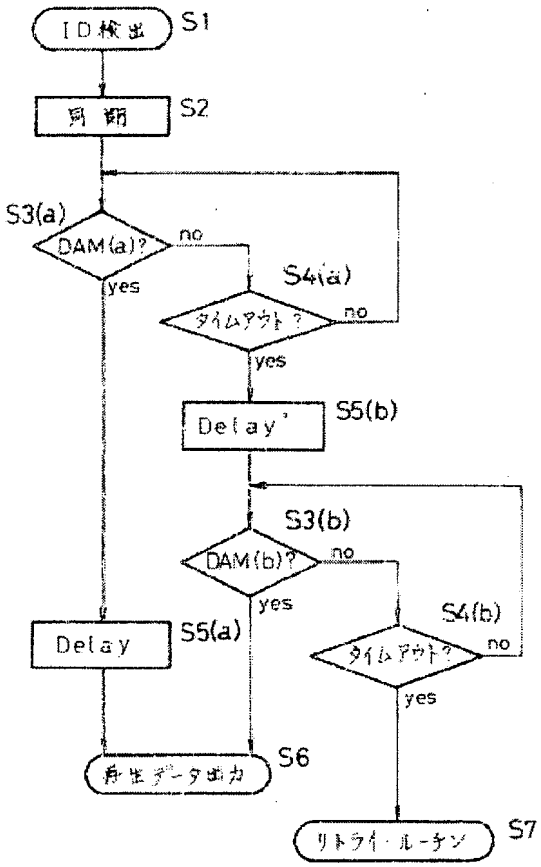


Figure 3

Key

S1	ID detection
S2	Synchronization
S4(a)	Timeout?
S4(b)	Timeout?
S6	Reproduced data output
S7	Retry routine

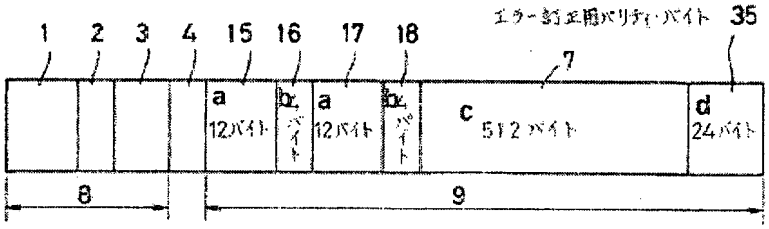


Figure 5

Key
7 512 bytes
a 12 bytes
b 4 bytes
c 512 bytes
d 24 bytes

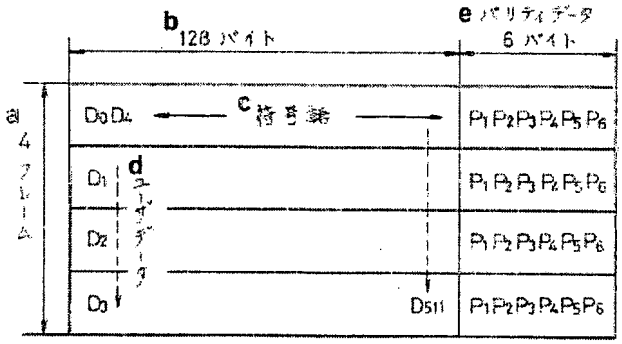


Figure 6

Key
a 4 frames
b 128 bytes
c Code words
d User data
e Parity data, 6 bytes

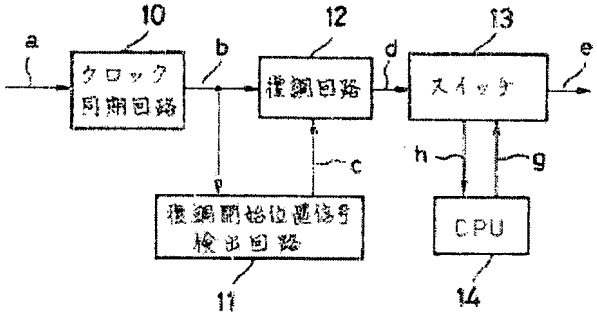


Figure 9

Key
10 Clock sync circuit
11 Demodulation start position signal detection circuit
12 Demodulation circuit
13 Switch

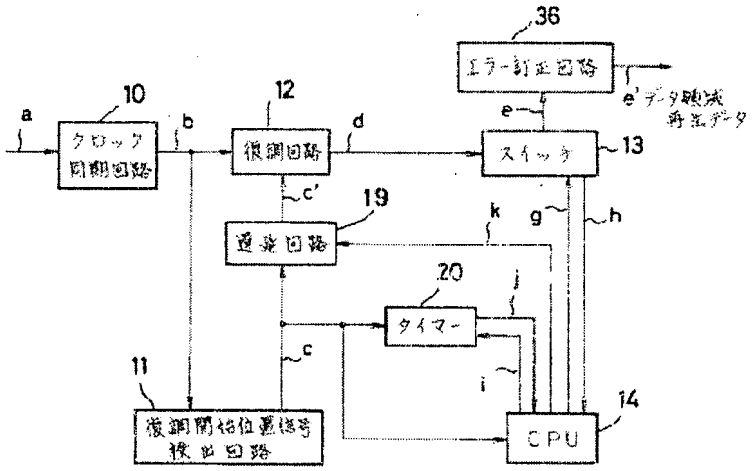


Figure 7

Key

10 Clock sync circuit
11 Demodulation start position signal detection circuit
12 Demodulation circuit
13 Switch
19 Delay circuit
20 Timer
36 Error-correction circuit
e' Data area reproduced data